

「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」

【研究主題】

自らの課題に気付き、自分を高める子の育成

～健康をみつめ実感する歯・口の健康づくりを通して～

岐阜県大垣市立静里小学校 13学級 392名

<http://www.ogaki-city.ed.jp/sizusyo/index.html>

【研究仮説】

発達段階に即した系統的な歯科保健活動計画をもとに、健康を実感する活動を取り入れた学習や日常的な保健指導の充実、家庭・地域及び関係諸機関との連携を行っていけば、自らの歯・口の健康及び生活習慣の課題に気付き、自分を高める子を育成することができる。

【研究の内容】

健康をみつめ実感する授業過程の在り方

- 1 自分の課題に気付く導入の工夫
 - 児童の思い・願いの把握
 - あこがれを生み出す資料の提示
 - 追究の視点の明確化
- 2 探求・試行活動を取り入れた展開の工夫
 - 実習、実験、話し合い活動等の位置づけ
- 3 自分の高まりに気付く評価の工夫
 - 児童の変容を見届ける評価活動

〈考える〉実習、実験、話し合い活動の位置付け



小臼歯は先がとがっていて、真ん中がでこぼこしている。染め出しをしたら、でこぼこしたところやすき間には、みがき残しがあるよ。

〈わかる〉健康課題改善への気付き



歯ブラシのつま先・毛先・かかとなどのいろんな部分を使い分けてみがくといいですよ。

日常的な保健指導の充実

- 1 日常における保健指導の充実
 - 給食後の歯みがき、フッ化物洗口の推進
 - 短学活における指導の工夫
 - 個別歯みがき指導の充実
- 2 啓発活動の充実
 - 保健給食委員会の活動の工夫
 - 児童の意識を高める校内掲示の工夫
- 3 生活習慣を改善する指導の工夫
 - 児童の実態把握、分析、課題の明確化

●給食後の歯みがきの推進



●個別歯みがき指導の充実



●保健給食委員会の活動の工夫



教室での「歯みがき教室」

歯みがきの「ポイントわざ」の紹介

家庭・地域・関係諸機関との連携

- 1 学校歯科医、歯科衛生士、学校栄養職員との連携
 - 担任とG Tによる指導の工夫
 - 効果的な指導の工夫
- 2 家庭との連携
 - PTA各委員会による啓発活動の充実
 - 保健だより、学校・学年だよりによる家庭への啓発活動の充実
 - 授業後の家庭における実践の見届け

●担任とG Tによる効果的な指導の工夫

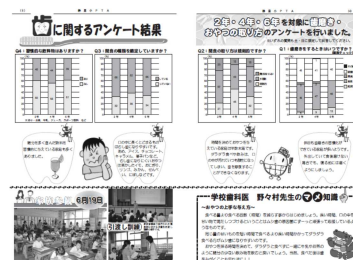


学校歯科医



歯科衛生士

●PTA各委員会による啓発活動の充実



PTA広報「しずさと」